

政策名	1グローバルロジスティクスの港		責任者	企画調整室 企画担当課長	連携担当課 (企画調整室) コンテナターミナル再編担当
基本施策名	01国際・国内海上輸送機能の強化				
個別施策名	02既存コンテナ機能を再編・強化する		連絡先	052-654-7969	
事務事業名	06コンテナターミナル管理運営方針の策定				

1 PLAN(目的・概要)

目的	名古屋港のコンテナターミナルのコストの削減、サービスの向上に資する管理運営方針を決定し、事業化につなげます。	事業期間	平成21年度
概要	名古屋港におけるコンテナターミナルの運営状況および東西港におけるコンテナターミナルの管理手法などを調査・検討します。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	名古屋港のコンテナターミナルの管理運営方針については、埠頭公社を核とした各ターミナル経営体との「グループ経営」の実現を目指す方向で纏めました。なお、本方針の纏め方としては、国際コンテナ戦略港湾の選定に向けた計画書に盛り込む形としました。(完了)							
活動指標	年度	19	20	21	22	最終目標	21	備考(指標の算定方法など)
コンテナターミナル管理運営方針の会議	単位	目標			3		3	特別検討班会議を2回、総合政策会議を1回実施しました。
	回	実績			3			
	単位	目標						
		実績						
事業費	千円			0	0			
人員 正規職員	人			0.35	-			
	嘱託職員	人		0.00	-			
人件費相当額	千円			3,004	-			
事業費・人件費の合計	千円			3,004	-			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	最終目標	21	備考(指標の算定方法など)	
方針策定進捗率	単位	目標			100		(累計)100		
	%	実績			100				
	達成率(%)			100.0					
	単位	目標							
		実績							
達成率(%)									
観点	課題の有無	現状の「見える化」						その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	有・(無)	・各コンテナターミナルの利用条件の相違が顕在化し、利用者から改善の要請があった中、国際コンテナ戦略港湾の応募にあたって、コンテナターミナルの管理運営方針を盛り込みました。						
	目的・水準の妥当性	有・(無)							
	利用者などの対象者ニーズ	有・(無)							
有効性	成果の達成度	有・(無)	・今年度中に方針策定が完了しました。						
	内容の妥当性	有・(無)							
効率性	実施主体の妥当性	有・(無)	・コンテナターミナル経営体である埠頭公社、NCB、TCB、NUCTは本組合が大きく関わっている団体であって、本組合の事業としては妥当であり、また、最少人数で完了しました。						
	受益者負担の適正性	有・(無)							
	経済性	有・(無)							

4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大			平成21年度完了
		維持			
		縮小	維持	拡大	
		コスト			
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等	平成23年度に予定されている港湾法改正における港湾経営会社(仮称)の枠組みをにらみながら、必要に応じて実施に向けた調整をおこなってまいります。				